### 令和3年度の年金額は0.1%の引き下げ

令和3年1月22日、厚生労働省は、令和3年度の公的年 ■公的年金額(令和3年度) 金額を前年度比で0.1%引き下げることを発表しました。

年金額は毎年度、物価や賃金の変動率に応じて改定さ れています。令和3年度は物価変動率が0.0%、名目手 取り賃金変動率が▲0.1%となり、規定により新規裁定 者、既裁定者ともに年金額は0.1%引き下げとなりまし た。マイナス改定となるため、「マクロ経済スライド※」に よるスライド調整率 (▲0.1%) は翌年度以降に繰り越し となります。

※2004年の年金制度改正において導入された、公的年金の被保険 者の減少と平均余命の伸びに基づいて年金の給付水準を調整す る仕組みのこと。

年金の種類	年金額
老齢基礎年金(満額)	780,900円
加給年金額	224,700円
障害基礎年金(1級)	976,125円
障害基礎年金(2級)	780,900円
遺族基礎年金	780,900円
子の加算額(1人目・2人目)	224,700円
子の加算額 (3人目以降)	74,900円

#### 基金の事業概況

#### 設立事業所及び加入員・受給者の概況 (令和2年12月末)

事業所数	62所	
加入者数	2,441人	
年金受給者数	5人	••••••

#### 給付の支給の状況 (令和2年12月末)

給付の種類	件数	支給額
年金(老齢)	5件	936,000円
一時金(老齢)	27件	28,655,500円
年金(遺族)	0件	0円
一時金(遺族)	2件	1,910,700円
脱退一時金	92件	18,093,700円
合 計	126件	49,595,900円

#### 年金給付等積立金の運用状況

今年度は、前年度に年金資産全額を低リスク商品に振り向けたことによる影響から、運用収益はほぼプラスマイナス ゼロの結果となりましたが、昨年9月の資産運用検討委員会の決定に従い、翌10月より長期的に安定した収益を得 ることを目的として、マルチアセット運用を開始しております。

令和2年度の最終的な運用収益は494千円となり、修正総合利回り はプラス0.07%となりました。

運用収益	494千円
修正総合利回り	+0.07%

#### ●資産構成割合(令和2年12月時点)

(単位:百万円、%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	一般勘定	短期資金	その他資産	合 計
時価総額	125	28	159	68	299	50	33	762
構成割合	16.4	3.7	20.9	8.9	39.2	6.5	4.4	100.0



# 企業年金だより

2021

パン企業年金基金は、確定給付企業年金制度 (DB制度) です。本制度においては、加入者の 皆様のために積み立てられた退職後の給付額は、原則的に保証(確定)されています。

また、事業主にとっては、毎月一定額を社外に積み立てることができると同時に、その全額が損 金算入されますので、退職給付費用を有利に積み立てることができます。

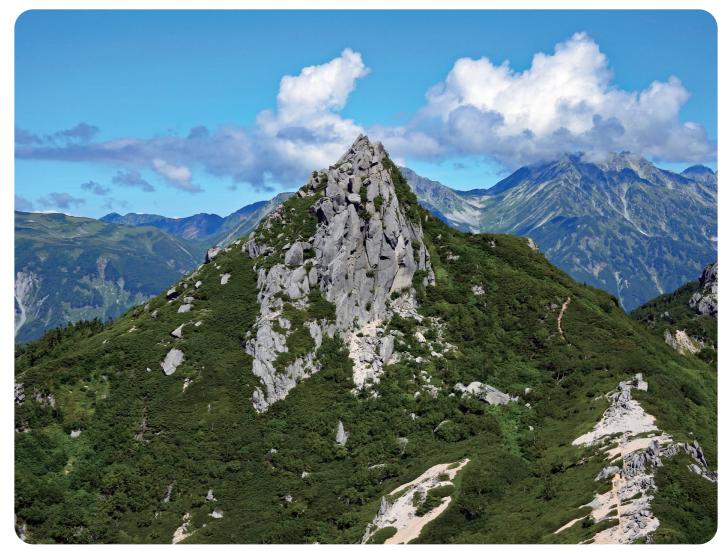
退職後の給付設計の一助に、ぜひ当基金をご活用ください。

#### ホームページはこちら

## https://pankikin.jp



当基金からのお知らせや、基金制度の概要、基金だよりのバックナンバーの閲覧等がご利用いた だけます。コンテンツは今後、随時充実を図っていく予定です。



▲ 烏帽子岳/北アルプス(前烏帽子岳より常務理事撮影)

# 令和2年度 決算のお知らせ

#### (令和2年1月1日~令和2年12月31日)

令和3年4月22日に開催された第9回理事会・代議員会において、当基金の令和2年度事業報告 及び決算について審議が行われ、全会一致で可決・承認されました。



#### 年金経理

#### **損益計算書**(令和2年1月1日~令和2年12月31日)

#### 貸借対照表(令和2年12月31日現在)

(単位: 千円)

収益勘定		費用勘定	È
科目	決算額	科目	決算額
掛金等収入	85,726	給付費	49,380
運用収益	4,573	運用損失	4,079
当年度不足金	16,506	運用報酬等	3,686
		業務委託費等	4,614
		責任準備金増加額	44,949
		繰越不足金処理金	97
合計	106,805	合計	106,805

資産勘定	資産勘定		Ē
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	14,156	流動負債	40
固定資産	761,808	支払備金	2,758
繰越不足金	0	責任準備金	789,672
当年度不足金	16,506	別途積立金	
		当年度剰余金	0
合計	792,470	合計	792,470

#### 業務経理

#### ■ 損益計算書(令和2年1月1日~令和2年12月31日)

(単位:千円)

■ 貸供対照事	(令和2年12月31日現在)
具旧刈黑衣	(カ州と牛   4月3  口現住)

(単位:千円)

収益勘定		費用勘定	È
科目	決算額	科目	決算額
掛金等収入	14,686	事務費	10,999
雑収入	0	雑支出	366
当年度不足金	0	当年度剰余金	3,321
合計	14,686	合計	14,686

資産勘定	資産勘定		È
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	14,560	流動負債	1,463
固定資産	150	繰越剰余金	9,930
前払金	4	当年度剰余金	3,321
繰越不足金	0		
当年度不足金	0		
合計	14,714	合計	14,714

### 財政検証結果

毎事業年度末において、継続基準及び非継続基準での年金資産の積立が十分かどうかを検証することを、財政 検証と言います。仮に十分な積み立てがなされていない場合は、掛金の見直し等を行う必要があります。

	基準値	積立水準	検証結果
継 続 基 準 (責任準備金)	いずれか ∫	0.97	NG
継 続 基 準 (財政再計算要否)	1.00以上 )	1.12	OK
非継続基準(最低積立基準額)	1.00以上	1.02	OK

当年度は責任準備金に不足が生じていますが、財政再計算要否については基準を満たしておりますので、掛金の 見直しを行う必要はありません。

# もつと見近に

# 企業年金は助かる「名脇役」

老後の生活資金は国の年金だけでは足りないといわれています。 企業年金は老後の生活にどのように役立てることができるでしょうか。











## より重要になる企業年金

老後の生活資金は、国の年金だけでは不足すると いわれています。調査によると、老後の月々の収入 は、国の年金を中心に約23万8千円(国の年金等が 91.3%) であるのに対し、支出は約27万1千円で、 毎月約3万3千円不足しています※1。

また、寿命が年々伸びて老後期間が長くなるのに 伴い、より多くの資金が必要となることが予想され ます。

そうした中、国の年金を補う企業年金は、より重 要な存在となっています。企業年金の年金額は、加 入期間や加入中の給与額等によって様々ですが、企 業年金連合会の調査では平均で69万2千円(月額5 万8千円) ※2となっています。

# ライフプランに合わせた受け取り方

国の年金は、65歳からの受給開始です。60歳以 降の希望する時期に繰り上げて受けることもできま すが、年金額は減額されます。

これに対し基金の老齢給付金は、60歳から年金が 受けられます。年金のほかに、一時金として受ける こともできます。

#### ■国の年金と基金の老齢給付金のちがい

	国の年金	基金の老齢給付金
受給開始年齢	(原則)65歳	60歳
受け取り方	年金	年金 or 一時金

\*基金の老齢給付金を受けるには、加入期間が15年以上必要です。加 入期間が3年以上15年未満の場合は、脱退一時金が受けられます。

3

- ※1 総務省「家計調査年報(家計収支編)2019年」より 夫65歳以上・妻60 歳以上の夫婦のみの無職世帯の平均
- ※2 企業年金連合会「平成30年度 企業年金実態調査」より

2